

# U19世界選手権



左上 JM4xセミファイナル蹴り出し：雨の中での蹴り出しです。

右上 JM2x・JW2xセミファイナル蹴り出し：雨がどんどん激しくなる中での蹴り出しです。

左下 JM4xセミファイナル：S古田(米子工業)、3武田(美方)、2高田(敦賀工業)、B中原(日田)

右下 JM2xセミファイナル：S野村(潮来)、大久保(明治大)

# 8/9 (土)

この日はJW4xを除いてすべて2000mを2本漕がなければなりません。

まずは午前中にC・D決勝をかけたセミファイナルレースです。そして午後にはC決勝もしくはD決勝を漕ぐこととなります。JW4xについては昨日のレースでCファイナルに出場することが決まっているため、午後だけのレースとなります。

レースはJM4x・JW2x・JM2xと続きます。すべてのレースにおいてC決勝出場を目指してのレースです。

いつものように07:00に朝食、08:30のバスに乗り移動。天気は予報通り雨、昨日の時点で本日の13:00に雷雨が激しくなるという予報から午前中のレースはすべて1時間、予定より早まっています。

会場に到着後、出艇に近づくにつれ雨が激しくなってきました。ミーティングを終え、出艇する際に稲垣チームマネージャーから艇内の雨水を掻き出すためのボトルが用意されていました。選手達にとってありがたいものだったと思います。強い逆風のコンディションの中選手たちはレースに向けて次々に出艇していきました。

## JM4x SemifinalC/D 1組 (1-3->FC, 4..->FD)

#99 09:10 AUT SRB CZE CHI JPN UKR

残念ながら500mで他艇に1艇身から2艇身つけられ6位で通過。その後もなかなかスピードに乗れずリズムも重たい。1500m地点で何とか5位のオーストラリアに追いつくがゴールでは6位となり、D決勝に進むことになってしまいました。

1位CZE6:19.30、2位CHI6:19.65、3位SRB6:20.96、  
4位UKR6:24.67、5位AUT6:33.29、6位JPN6:35.82

## JM2x SemifinalC/D 2組 (1-3->FC, 4-5->FD, 6..->FE)

#102 09:25 EST DEN JPN UKR JPN ARM

強い気持ちでスタートラインに着いたと思います。スタートから積極的に飛ばし2位につけました。しかし6位までの差は1秒少ししかありません。ここからです。

1000mまでの間にUKR・JPN・CANの3艇がリードし、4位のDENには水を開けつつあります。その後1500mまで4位のDENがしぶとく付いてくる粘り強さを出し、見ているこちらもいつにも増して気合が入ります。

しかし2位・3位グループのCANとJPNがお互い激しいスパートを入れ、一気にゴールになだれ込みました。結果は3位、決勝Cへの進出を決めてくれました。

1位UKR6:51.59、2位CAN6:54.39、**3位JPN6:54.64**、  
4位DEN6:58.10、5位EST7:06.32、6位ARM7:06.71

### **JW2x SemifinalC/D 1組 (1-3->FC, 4.->FD)**

#103 09:30 JPN SWE RUS CRO MDA

スタートから出遅れ、500mでは3位のSWEより3秒遅れの6位、5位のCROにも2秒出られました。その後上位3クルーのうちRUS・SWEが落ち始め、1位のMDA以外は、RUS・SWE・CROが横に並びJPNは少し遅れての5位のまま1000mを通過。

しかし次の500mで上位3艇がほぼ固定し、JPNはCROと4位争いに入ります。最後は粘って、何とかCROを押えて4位に入りました。

1位MDA7:45.20、2位RUS7:45.33、3位SWE7:48.58、  
**4位JPN7:52.62**、5位CRO7:55.40

午前にレースのあった各クルーは午後のレースに照準を合わせ、一旦ホテルに戻るクルーとそのまま会場のRestAreaで休むクルーとに分かれました。

午後になると雨は上がりましたが、風が強くコースコンディションが相当ひどい状態となりました。FISAは午後の早くに15:30からの午後開始のレースを16:30からに変更し、チームマネージャーのモバイルに一齐送信。インフォメーションセンターでも即座に内容が掲示され、あっという間にレース開始時間の変更が周知されました。相変わらず素早い対応には感心してしまいます。

JPNはすべて17:00を過ぎてのレースです。ここドイツでの最後のレース、選手も自ずと気合が入ります。コンディションはやや落ち着きましたが順の強い風の中でのレースです。

### **JM4x Final D**

#135 17:18 RSA AUT SWE UKR BUL JPN

スタートから離されることなく前半では3位。

しかし1000m付近では3位と2秒以上離れての4位。ここが踏ん張りどころです。粘って粘って1500をそのまま通過、ラストクォーターに。

ラストスパートをJPNが入れ、3位のBULにどンドン迫る。力を出しつくしたレースは4位で終了しました。

1位UKR6:04.81、2位SWE6:05.55、3位BUL6:07.36、  
**4位JPN6:08.47**、5位RSA6:12.90、AUTはDNS  
JPNは27クルー中22位。

**JW2x Final D**

#137 17:30 CRO JPN EST ZIM

前半でZIM以外の3クルーがほぼ横並びの状態を進みます。1000m付近では、CROとJPNがトップ争いを繰り広げ、ESTとは水を開けます。1500mではCROと横並びの0.2秒差で2位。「行けーっ」と応援も気合が入ります。GoalではCROに届きませんでした、下位を離しての2位で終了しました。

1位CRO7:27.56、2位JPN7:28.52、3位EST7:33.53、4位ZIM8:02.30

JPNは22クルー中20位。

**JW4x Final C**

#142 18:00 RUS JPN PER

絶対1着でGoalという決意の下、水上に。RUSとの一騎打ちになります。

前半から力強さとリズムの良さが出て、RUSの頭を押えて出ました。

レース中盤、RUSに2秒差をつけて通過。気が抜けません。この後もJPNは力強さとリズムをキープし、1500mではRUSに水を明け、快調に飛ばします。

最後はRUSに5秒差をつけての、嬉しい1着でGoalしました。

1位JPN6:55.68、2位RUS7:00.53、3位PER7:03.90

JPNは15クルー中13位。

**JM2x Final C**

#144 18:12 USA CAN GBR UKR NZL JPN

Final Cといえども、強豪国の中でのレースです。

スタートからは気負いからでしょうか、完全に他艇に出られて6位からの始まりです。それ以上離されることはありませんでしたが、1000mを通過してもこの状態に変化なし。しかしここから驚異的な追い上げを始めます。中盤からスピードに乗り始め、CANとUSAを抜いて4位に。1艇身先のUKRを追います。

ラストクォーターではトップのラップをたたき出し、UKRに迫る迫る。力を出し切ったの4位でGoal。素晴らしいレースをしてくれました。

1位GBR6:30.24、2位NZL6:32.50、3位UKR6:35.79、

4位JPN6:37.21、5位USA6:38.85、6位CAN6:42.77

JPNは25クルー中16位。

ここまでの、長い間の応援ありがとうございました。選手たちは今後U19から上のカテゴリーでも世界と戦ってくれると信じます。

本当にありがとうございました。



- 左上 JW2xセミファイナル：S成瀬（恵那）、B常盤（小浜水産）
- 右上 ミーティング：最後のレースに向けて、各クルーでミーティングが行われました。
- 左中 JM4x Final D：このレース4位、全体で22位で終了。S古田(米子工業)、3武田（美方）、2高田（敦賀工業）、B中原（日田）
- 右中 JW2x Final D：このレース2位、全体で20位で終了。S野村（潮来）、大久保（明治大）
- 左下 JW4x Final C：S小原（筑波大）、3棚橋（加茂）、2高島（米子東）、B瀧本（館林女子）
- 右下 JW4x Final CのGoal：このレース1位、全体で13位で終了。S小原（筑波大）、3棚橋（加茂）、2高島（米子東）、B瀧本（館林女子）



左 JM2x Final C : このレース4位、  
全体で16位で終了。S野村（潮  
来）、大久保（明治大）



ありがとうございました。

後列左から古田(ヘッドコーチ)、鎌野(男子コーチ)、野村(JM2x 潮来)、古田(JM4x 米子工業)、高田(JM4x 敦賀工業)、中原(JM4x 日田)、大久保(JM2x 明治大)、武田(JM4x 美方)、徳岡(女子コーチ)、稲垣(チームマネージャー)、山口(サポートコーチ)

前列左から棚橋(JW4x 加茂)、成瀬(JW2x 恵那)、瀧本(JW4x 館林女子)、常盤(JW2x 小浜水産)、小原(JW4x 筑波大)、高島(JW4x 米子東)、藤岡(サポートコーチ)